



川崎駅東口周辺地区 総合自転車対策基本計画

—概要版—

平成 22 年 8 月



1 基本計画策定の趣旨

自転車は、環境にやさしく、健康的な乗り物として、通勤・通学における鉄道駅までの交通手段や買い物・レジャーなどに広く市民に利用されています。

一方で、川崎駅東口においては、多くの歩行者が集まる駅周辺地区に自転車利用が集中し、多くの放置自転車とともに、安全で快適な通行の妨げとなっています。

このため、本市では、歩行者・自転車の通行の安全を確保するため、歩道の通行環境の改善や自転車利用者の交通ルール遵守・マナー向上、また、計画的な駐輪場の整備など、川崎駅東口周辺地区における総合的な自転車対策について、平成20年8月より学識経験者、市民代表等からなる検討会議を組織し、検討を進めてまいりました。

この度、総合的な自転車対策の取組目標や施策の方向性について、パブリックコメント手続きを経て「川崎駅東口周辺地区総合自転車対策基本計画」を策定いたしました。

(1) 対策の目的

「魅力あるまちをつくる」ことを目指して、公民の連携により、歩行者と自転車の通行環境の安全性・快適性及びまちなみ景観の向上を図り、本市を代表する拠点としての都市機能及び魅力を高めることを目的とします。

(2) 対策の対象地区

本対策は、川崎駅東口周辺地区を中心とし、本地区への自転車利用を考える上で必要な範囲を対象とします。

●対策の対象地区



(3) 対策の計画推進期間

本対策は、平成22年度から平成31年度までの10年間を計画推進期間とします。

2 川崎駅東口周辺地区の課題

課題1 歩行者と自転車の通行環境

- 市役所通り・新川通りにおいては、路上駐輪場と放置自転車により、通行可能幅員が狭あいとなっており、歩行者と自転車が輻輳し、安全な通行の妨げとなっています。
- 街区道路においても、放置自転車や路上看板等により、通行空間が阻害されています。
- 自転車利用者の違法駐輪や交通マナーの低下などの問題も深刻化しています。

課題2 まちなみ景観

- 放置自転車や道路上を不法占用している商店の看板などにより、本市の玄関口として相応しい景観とはいえない状況となっています。

課題3 川崎駅直近における大規模な駐輪場整備

- 川崎駅東口周辺地区では、駐輪場整備へのニーズが高くなっていますが、高密度に土地利用が図られている駅周辺地区では、用地の確保や整備費用の観点から、大規模な駐輪場の整備には限界があります。

3 目標と3つの基本方針

目標

魅力あるまちをつくる

公民連携により、歩行者と自転車の通行環境の安全性・快適性及びまちなみ景観の向上を図り、本市を代表する拠点としての都市機能及び魅力を高めます。

基本方針 1

安全で快適な歩行者と自転車の通行環境の構築

- 歩行者と自転車の通行空間の分離を基本とした安全性と快適性の向上に向けた取り組みの推進
- 自動車中心の道路構造から歩行者・自転車のための道路空間構築に向けた取り組みの推進

基本方針 2

適正な自転車利用の誘導

- 自転車需要をマネジメントするという発想にたった公共交通機関への転換等を含めた総合的な自転車対策の推進
- 公民の協働の取り組みによる適正な自転車利用の推進

基本方針 3

効率的かつ効果的な駐輪場の整備・活用

- 駐輪需要に対応した計画的な駐輪場の整備
- 駐輪場の利便性や利用目的に応じた多様な料金の設定
- 公民連携による駐輪場の整備・管理・運営の推進

4 1 1 の施策の方向性

基本方針
1

安全で快適な歩行者と自転車の通行環境の構築

1 市役所・新川通りにおける歩行者・自転車通行環境の整備

川崎駅東口周辺地区の目抜き通りとなる市役所通りと新川通りにおいて、歩行者と自転車の通行空間の分離を図り、健常者だけでなく、高齢者や身体が不自由な方など、さまざまな方に配慮した安全で快適な通行環境の整備を進めます。

- 路上駐輪場の代替施設の整備後、路上駐輪場を撤去し、歩行者と自転車の通行空間を柵により分離
- 通行位置の明示や注意喚起に必要な路面標示などを設置
- 交差点部、バス停部における安全かつ円滑な処理に留意した整備を推進
- 植栽帯の高木間に短時間利用者を対象とした駐輪施設を設置

●整備イメージ



2 不法占用物件の撤去などによる安全で快適な歩行空間の確保

川崎駅東口周辺地区において、道路上を不法占用している商店の看板などに対する撤去を強化し、安全で快適な歩行空間の確保に取り組みます。

- 関係機関と連携した、道路上の不法占用物件に対する指導・撤去の強化 など

3 駅前広場周辺エリアにおける自転車の走行抑制

川崎駅東口駅前広場及び周辺の歩道を「押し歩きエリア」として設定し、自転車利用者の押し歩きを推進することで、健常者だけでなく、高齢者や身体が不自由な方など、さまざまな方に配慮した安全で快適な歩行空間の実現を目指します。

- 交通安全活動を中心に「押し歩き」推進の呼びかけの実施
- 地域団体等や警察との連携体制の構築
- 街頭での呼びかけのほか、まちなみの景観に配慮した効果的なサインの設置、広報車、街頭放送など様々なツールを活用した推進活動の実施
- アゼリアビジョン等を活用した、映像による啓発の実施



4 自転車通行環境整備に向けた取り組み

川崎駅東口周辺地区を拠点とする自転車通行環境の整備を進め、歩行者、自転車、バス、自動車が共存できる通行環境の構築を推進します。

- 川崎区内の幹線道路を中心に、川崎駅東口周辺地区へのアクセス性、駐輪場との連続性等を考慮し、歩行者と自転車の通行空間の分離を基本とした自転車通行環境整備を推進

5 放置自転車の撤去の徹底

「川崎市自転車等の放置防止に関する条例」に基づき、自転車等放置禁止区域における自転車・原動機付自転車の撤去を強化し、自転車等の放置の防止と駐輪場の利用を促進するとともに、歩行者等の通行の安全とまちなみ景観の向上を目指します。

- 「放置ゼロの日」集中撤去キャンペーンの実施
- 映像や広報車による啓発活動の実施
- 撤去頻度の少なかった休日及び午後の撤去の強化
- 短時間利用駐輪場の整備を契機に放置自転車等の撤去を徹底



● 自転車等放置禁止区域

6 交通体系を考慮したバス交通の利用促進

川崎区の主要な公共交通機関であるバス交通を将来にわたる交通手段として維持するため、更なる利便性の向上と利用促進を図り、自転車利用との有機的な連携についても検討します。

- 交通需要に応じた新たな路線の開設や、混雑緩和など需要に応じたバス運行ダイヤの見直しなど、バス運行を改善
- バリアフリー対応のバスへの更新やバスナビの充実など、バス交通の利便性を向上
- バスの利用促進を目的に、新たな駐輪場料金を踏まえたサイクル&バスライドの導入を検討

7 コミュニティサイクル等の導入に向けた取り組み

適正な自転車利用を促進するために、コミュニティサイクル等の導入の可能性を検討します。

- 交通手段としての有効性や採算性などの検討

8 交通ルールの周知、マナー向上に向けた啓発活動の推進

公民の連携、協働による自転車利用者への広報活動の推進や、自転車利用者に対する教育活動の推進により、自転車利用者への交通ルール周知の徹底、マナー意識の向上を目指します。

- 「川崎市交通安全計画」に基づき、既存の地域団体等と連携した啓発活動の継続・発展
- 大規模集客施設や金融機関との連携体制の構築や地域団体等と連携した啓発活動について検討・実施



● マナーアップキャンペーンの様子

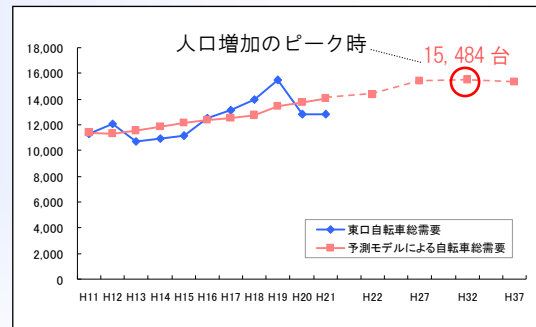
9 利用目的に応じた駐輪場の整備

駐輪場の整備に関する現状と課題を踏まえた整備方針の検討を行うとともに、これまでの駐輪需要の推移から今後の駐輪需要の予測を行い、まちなみ景観に配慮した計画的な駐輪場の整備を図ります。

現在の既設駐輪場の収容可能台数は10,600台ですが、計画推進期間の目標収容台数を10年後の約15,000台と設定し、段階的に整備します。このうち、約2,000台は、商店街での買い物などを目的とする利用者を対象とした短時間利用の駐輪場として整備を推進します。

駐輪場整備の方針

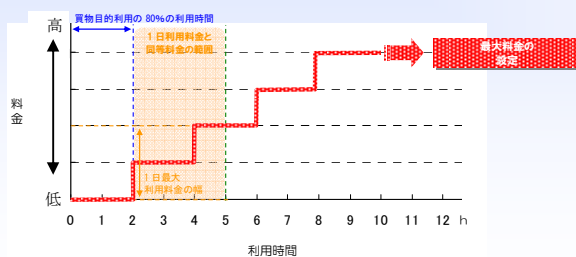
- 方針1 歩行者の安全に配慮した駐輪場整備
- 方針2 公共用地を活用した整備
- 方針3 利用者のニーズに対応した整備
- 方針4 民間事業者等による整備促進
- 方針5 まちなみ景観に配慮した駐輪場整備



10 駐輪場の利便性や利用目的に応じた多様な料金の設定

「自転車等駐車場利用者の適正な負担のあり方検討会議[※]」の検討内容を踏まえて、駐輪場の利便性に応じた多様な料金設定により、駐輪場の利用促進を図ります。

- 駅からの距離など利便性に応じた料金制度の導入を検討
- 短時間利用が無料となるなどの利用時間に応じた課金制度の導入を検討



● 短時間利用料金体系イメージ

※市内における自転車等駐車場の料金の適正な受益者負担の仕組みと新たな管理運営方法の検討を行うため、学識者、市民代表、公共交通事業者、交通管理者、行政関係者を委員として、平成20年8月に設立された検討会議です。

11 公民連携による駐輪場の整備促進及び管理運営手法の検討

鉄道事業者や地元事業者等と連携した駐輪場の整備促進及び駐輪場を効果的に活用するため、民間活力の導入を検討します。

- 鉄道事業者や地元事業者等による主体的な駐輪場の整備を促進
- 民間事業者の駐輪場の整備に対する助成制度等を検討
- 指定管理者制度の導入を検討